



TEAM白旗小

ふるさとを愛し 夢に向かって
主体的に学び続ける児童の育成



甲佐町立白旗小学校
学校便り 第9号
令和6年11月19日発行
文責：原田 加代子

授業研究会、研究発表会に向けて

11月6日に、「甲佐町人権学習授業研究会」で、3年生の授業を公開しました。当日は、子供達と担任の内田先生の様子を町内の先生に参観していただき、様々なご意見をいただきました。また、今週11月22日は、「甲佐町学力充実研究推進校研究発表会」が本校で予定されており、4年生、6年生が授業を公開します。当日は、80名近くの先生方が来校予定です。人権学習の授業の時も、研究発表会に向けて、先生方が、チームを組んで、授業者をサポートしながら準備を進めています。「チーム白旗小」。職員一丸となって頑張っています。



3年生の授業の様子



4年生の授業に向けて



6年生の授業に向けて

全校集会で子どもたちと考えたこと

10月、11月と全校集会を行いました。今年度の集会では、話を聞くだけではなく、話を聞いて思ったことや考えたことを、自分の言葉で伝え合うことを大切にしており、回を重ねるごとに、自分から発表する子供も増えてきました。今回は、子供達が考えたこと等を紹介します。

10月は、「あいさつは何のため？」について考えました。執行部や地域の方との「あいさつ運動」の時だけではなく、いつも気持ちのよい挨拶ができるべとみんなで考えました。子供達は、あいさつをすると「仲良くなれる」「心がすっきりする」、挨拶は「大人になっても必要なもの」「人と人の心をつなぐ大事なコミュニケーション」と発表してくれました。



11月は、「登校班」と「歩いて登下校する」ことの意味を考えもらいました。高学年の子供達のほとんどは、リーダーとして責任をもって、登校班の低学年を連れてこなくてはいけないと考えています。また、「歩いて登下校する」ことは、「体を動かすと脳が働き、記憶する力、考える力が高まる」「幸せホルモンが出て、笑顔になる」「歩くことで体力がつく」「自分のことは自分でする等の自立する力がつく」などの効果があります。子供達が歩いて登下校できるよう、保護者の皆さんから、お子さんへ声をかけていただければと思います。

登校班は、どうしてありますか？

体力がつくため

安心、安全のため

小さい子が一人にならぬないように

